



虹

先日小雨振る中、犬と
仏生山公園を散歩してい
た処、偶然にも二重の虹
と出会いました。
法然寺の前池に映る虹
と相まって、何だかとても
心が嬉しくなりました。

實相寺 花園会報

令和二年

七月一日発行

発行所

臨済宗妙心寺派

陽明山 實相寺

實相寺花園会

〒761-0450

高松市三谷町

1811番地1

TEL087-889-3838

編集発行人

山本文匡

<http://www.jissouji.net>

第135号

「階段修理のご報告」

正面階段の修理と共に手すりを設置しました。工事は複数業者による相見積もりの結果、山田石材さんをお願いしました。当初は「木の根が裏から石段を押しているのでは無いか？」と想像していましたが、石段を外した結果、特に基礎面に問題はありませんでした。恐らくは「雨水が浸入し、徐々に石を動かしたのではないか」との事でした。



今回、ズレていた石段裏面にアンカーボルトを打ち込み固定しました。併せて設置したステンレス製手すりでも、上り下りも安全になったと思います。有難うございました。

「柵経について」

今年の柵経はコロナ対策として、住職はマスク着用、各戸手指の消毒を実施した上で訪問したいと思います。日時は例年通り今月中旬にハガキでお知らせしますが、ご都合が悪い方は8月15日にお参り頂くことも出来ます。

「自動車入れ替えのご報告」

平成24年に5年落ちの中古車で購入した普通車の車検と平成16年購入の軽自動車の修理見積もりが併せて70万円だった為、熟慮の上、2台を処分し、新車の小型車1台を購入しました。

りますが、葬儀が15件、法事が57件、月参り等が275件ありました。一方平成30年度では葬儀5件、法事33件、月参り等は27件です。お葬式の数も流動的ですし、たまたま21年は多かったこともあり、法事の数も明らかに減って来ていることが緑の折れ線グラフからも読み取れます。

また住職が平成24年4月から29年5月迄本山に務めた為、月参りが出来なくなりました。減収の一因です。それでも月参りの件数は徐々に減少していましたが、5年間中止したことです。こうした習慣がほぼ無くなりました。

加えて葬儀後の七日参りも少なくなりました。今では四十九日の法事までは訪問しないご家庭が殆どです。

それらの原因はこれまで述べて来た通り、一言でいえば世相ですが、今後はコロナ禍も加わって、益々親戚が集まる機会も減っていくことでしょう。寂しい限りではありますが、お寺に世相を変える力はありませんので、その時々々の世相の中で、お寺に出来る事を模索していく必要があります。

その一つが無縫塔の建設でした。灰色のグラフが志納金収入です。平成22年、23年は布施収入の減少分を補っています。その後伸び悩んでいます。で、今後、先ずはここを強化する必要があります。オレンジのグラフは施餓鬼・達磨忌・修正会等の法要収入です(晋山式・先住葬儀や年忌法要は除外)こちらも減少傾向です。

(続)

「お寺の現状について」(5)

さて長々と現代のお寺をとりまく一般的な状況を述べてきましたが、肝心なのは「では實相寺はどうなのか？」ということだと思います。

実は平成20年11月に私が住職になって以来、残念ながら収支が黒字だった年は殆どありません。勿論、晋山式や先住職の葬儀・法事等で、臨時に多額の収入があった年もありますが、基本的な布施収入(葬儀・法事・月参り・棚経・御供料・お膳料等の合計)は減り続け、以下の青グラフの通り平成30年では平成21年の半分以上です。

その主たる原因は、法事や月参りの回数が減っていることにあります。平成21年度は1月からの15ヶ月分ではあ

